

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年11月14日

上場会社名 日本テクノ・ラボ株式会社 上場取引所 札
コード番号 3849 URL <https://www.ntl.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松村 泳成
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 鈴木 孝男 (TEL) 03-5357-1830
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	300	△5.8	△36	—	△35	—	△23	—
2024年3月期中間期	318	19.6	13	—	14	—	9	—
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円	銭	円	銭				
2025年3月期中間期	△14.70	—	—	—				
2024年3月期中間期	5.89	—	5.86	—				

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
2025年3月期中間期	1,346	85.8	1,154	85.8		
2024年3月期	1,435	83.4	1,197	83.4		

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 1,154百万円 2024年3月期 1,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	—
2025年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期の配当につきましては、定款において9月30日（第2四半期末日）及び3月31日（期末日）を配当基準日に定めております。現時点では、9月30日（第2四半期末日）基準日における配当は無配とさせていただきます。3月31日（期末日）基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	900	10.4	200	63.4	200	59.5	120	38.4	73.84	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	1,731,000株	2024年3月期	1,731,000株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	110,800株	2024年3月期	105,800株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	1,623,369株	2024年3月期中間期	1,630,852株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等)	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、既存顧客の運用を支援しながら、製品の品質・機能を向上させ、顧客満足度を上げることによりユーザとの信頼関係を築きつつ、競争力のさらなる強化に努め、新規ユーザを獲得すべく営業活動に邁進してまいりました。

当中間会計期間におきましては、セキュリティ事業において、前年同期比、製品原価および保守原価の増によりセグメント損失を計上することとなりました。主な理由は、統合監視映像システムの一開発案件が、納品に至るまでに予想外に困難な場面に遭遇し、製品原価、保守原価、販売費及び一般管理費が増加したことによるものです。

その結果、当中間会計期間の業績は、売上高は300,259千円(前中間会計期間比5.8%減)、営業損失は36,940千円(前中間会計期間は営業利益13,628千円)、経常損失は35,941千円(前中間会計期間は経常利益14,268千円)、中間純損失は23,866千円(前中間会計期間は中間純利益9,598千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当中間会計期間より、従来報告セグメントとしていたビジネスソリューション事業については、重要性が乏しくなったため、「その他」として記載する方法に変更しております。

(イメージング&プリンタコントローラ事業)

当事業における開発製品はMistral(ミストラル)およびPSR(ピーエスアール)であり、当事業においては、主に、産業用インクジェットプリンタ、広巾長尺プロッタ等のコントローラ(制御ソフトウェア)の開発、販売、保守業務を行っております。

当中間会計期間におきましては、売上高は93,053千円(前中間会計期間比20.2%減)、セグメント利益は37,164千円(前中間会計期間比9.0%増)となりました。

(ストレージソリューション事業)

当事業における開発製品はMnemos(ネモス)であり、当事業においては、主に、可搬型記憶媒体システムの開発、販売および保守業務を行っております。

当中間会計期間におきましては、売上高は16,722千円(前中間会計期間比24.0%減)、セグメント損失は3,922千円(前中間会計期間セグメント損失は5,476千円)となりました。

(セキュリティ事業)

当事業における製品開発は、SPSE(エスピーエスイー)、PC GUARD(ピーシーガード)、COPY GUARD(コピーガード)およびFIRE DIPPER(ファイヤーディッパー)であり、主に、セキュリティプリントシステムや統合監視映像システムなどのセキュリティシステムの開発、販売および保守業務を行っております。

当中間会計期間におきましては、売上高は190,421千円(前中間会計期間比5.6%増)、セグメント損失は3,166千円(前中間会計期間セグメント利益は52,605千円)となりました。

(その他)

その他の事業は主に受託開発等であります。

当中間会計期間におきましては、売上高は62千円(前中間会計期間と同額)、セグメント利益は18千円(前中間会計期間比19.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりです。

(流動資産)

当中間会計期間末の流動資産合計は1,095,393千円と前事業年度末に比べて99,078千円減少しました。減少した主な要因は、現金及び預金が38,398千円増加しましたが、売掛金及び契約資産が141,355千円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当中間会計期間末の固定資産合計は250,617千円と前事業年度末に比べて9,868千円増加しました。増加した主な要因は、差入保証金が24,666千円減少しましたが、有形固定資産が15,993千円、繰延税金資産が11,929千円、保険積立金が5,176千円増加したこと等によるものです。

(流動負債)

当中間会計期間末の流動負債合計は119,731千円と前事業年度末に比べて58,502千円減少しました。減少した主な要因は、未払法人税等が25,773千円、未払消費税等が16,411千円、未払金が10,316千円減少したこと等によるものです。

(固定負債)

当中間会計期間末の固定負債合計は71,710千円と前事業年度末に比べて12,010千円増加しました。増加した主な要因は、資産除去債務が12,010千円増加したことによるものです。

(純資産)

当中間会計期間末の純資産合計は1,154,569千円と前事業年度末に比べて42,718千円減少しました。減少した主な要因は、中間純損失の計上23,866千円、配当金の支払16,252千円により利益剰余金が40,118千円減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて38,398千円増加し、798,813千円となりました。

また、当中間会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間末における営業活動の結果得られた資金は59,283千円となりました。主な要因は、税引前中間純損失35,941千円の計上、法人税等の支払額24,442千円、棚卸資産の増加19,503千円、未払消費税等の減少16,411千円等による支出がありましたが、売上債権の減少165,717千円等の収入があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間末における投資活動の結果使用した資金は781千円となりました。これは、敷金及び保証金の回収による収入24,666千円がありましたが、有形固定資産の取得13,373千円、資産除去債務の履行6,898千円等の支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間末における財務活動の結果使用した資金は20,096千円となりました。これは、配当金の支払額16,340千円、自己株式の取得3,755千円の支出によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	760,414	798,813
受取手形	178	—
電子記録債権	46,212	22,028
売掛金及び契約資産	332,825	191,470
商品及び製品	32,157	40,263
仕掛品	840	6,294
貯蔵品	45	45
前渡金	1,889	1,894
前払費用	19,815	34,471
未収消費税等	—	338
その他	582	43
貸倒引当金	△490	△270
流動資産合計	1,194,472	1,095,393
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,838	23,736
減価償却累計額	△7,012	△643
建物(純額)	6,826	23,093
車両運搬具	12,708	12,708
減価償却累計額	△12,708	△12,708
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	65,034	63,899
減価償却累計額	△57,642	△56,781
工具、器具及び備品(純額)	7,391	7,118
有形固定資産合計	14,218	30,212
無形固定資産		
ソフトウェア	571	462
電話加入権	1,569	1,569
無形固定資産合計	2,141	2,031
投資その他の資産		
投資有価証券	14,227	15,828
関係会社株式	0	0
出資金	10	10
長期前払費用	56	—
差入保証金	77,228	52,562
保険積立金	125,614	130,790
預託金	22	22
繰延税金資産	1,229	13,159
その他	6,000	6,000
投資その他の資産合計	224,389	218,373
固定資産合計	240,749	250,617
資産合計	1,435,221	1,346,011

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,419	19,608
未払金	13,217	2,900
未払費用	19,926	15,322
未払法人税等	29,225	3,452
未払消費税等	16,411	—
契約負債	61,808	75,210
預り金	6,176	3,192
資産除去債務	7,894	—
その他	153	43
流動負債合計	178,234	119,731
固定負債		
長期未払金	59,700	59,700
資産除去債務	—	12,010
固定負債合計	59,700	71,710
負債合計	237,934	191,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,200	436,200
資本剰余金		
資本準備金	430,700	430,700
その他資本剰余金	2,569	2,569
資本剰余金合計	433,269	433,269
利益剰余金		
利益準備金	200	200
その他利益剰余金		
別途積立金	5,000	5,000
繰越利益剰余金	357,417	317,298
利益剰余金合計	362,617	322,498
自己株式	△44,631	△48,341
株主資本合計	1,187,455	1,143,626
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,689	10,800
評価・換算差額等合計	9,689	10,800
新株予約権	142	141
純資産合計	1,197,287	1,154,569
負債純資産合計	1,435,221	1,346,011

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	318,876	300,259
売上原価	135,365	165,495
売上総利益	183,511	134,764
販売費及び一般管理費	169,882	171,704
営業利益又は営業損失(△)	13,628	△36,940
営業外収益		
受取利息及び配当金	348	678
保険事務手数料	296	352
その他	24	33
営業外収益合計	669	1,064
営業外費用		
支払手数料	8	46
為替差損	21	18
営業外費用合計	29	65
経常利益又は経常損失(△)	14,268	△35,941
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	14,268	△35,941
法人税、住民税及び事業税	3,336	345
法人税等調整額	1,333	△12,420
法人税等合計	4,669	△12,074
中間純利益又は中間純損失(△)	9,598	△23,866

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	14,268	△35,941
減価償却費	2,966	9,896
新株予約権戻入益	—	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△220	△220
受取利息及び受取配当金	△348	△678
売上債権の増減額(△は増加)	166,612	165,717
棚卸資産の増減額(△は増加)	△19,777	△19,503
前渡金の増減額(△は増加)	10,670	△5
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△338
仕入債務の増減額(△は減少)	10,086	△3,810
契約負債の増減額(△は減少)	9,063	13,401
未払金の増減額(△は減少)	△8,439	△10,599
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,913	△16,411
その他	4,379	△18,436
小計	173,347	83,069
利息及び配当金の受取額	348	656
法人税等の支払額	△32,455	△24,442
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,241	59,283
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,249	△13,373
無形固定資産の取得による支出	△565	—
保険積立金の積立による支出	△4,208	△5,176
敷金及び保証金の回収による収入	—	24,666
資産除去債務の履行による支出	—	△6,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,023	△781
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△818	△3,755
配当金の支払額	△24,494	△16,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,312	△20,096
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	105,919	38,398
現金及び現金同等物の期首残高	836,221	760,414
現金及び現金同等物の中間期末残高	942,141	798,813

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソリ ューション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	116,538	21,992	180,283	318,814	62	318,876
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	116,538	21,992	180,283	318,814	62	318,876
セグメント利益又は損失(△)	34,094	△5,476	52,605	81,224	22	81,246

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	81,224
「その他」の区分の利益	22
全社費用(注)	△67,617
中間損益計算書の営業利益	13,628

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソリ ューション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	93,053	16,722	190,421	300,197	62	300,259
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	93,053	16,722	190,421	300,197	62	300,259
セグメント利益又は損失(△)	37,164	△3,922	△3,166	30,074	18	30,092

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	30,074
「その他」の区分の利益	18
全社費用(注)	△67,033
中間損益計算書の営業損失(△)	△36,940

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間会計期間より、従来報告セグメントとしていたビジネスソリューション事業については、重要性が乏しくなったため、「その他」として記載する方法に変更しております。なお、前中間会計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

(受注状況)

当中間会計期間の受注状況をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	126,512	1,786.6	47,127	392.4
ストレージソリューション事業	16,525	414.4	3,729	29.0
セキュリティ事業	112,824	△62.7	145,772	△57.4
その他	62	0.0	—	0.0
合計	255,925	△18.1	196,629	△44.5

(注) 受注残高合計の内、当事業年度に売上が見込まれる受注残高は、159,645千円であります。

(販売実績)

当中間会計期間の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	93,053	△20.2
ストレージソリューション事業	16,722	△24.0
セキュリティ事業	190,421	5.6
その他	62	0.0
合計	300,259	△5.8